

メディナス訪問看護ステーション リハビリ症例集

メディナス訪問看護ステーションでは、ご利用者様自らのやる気を引き出す。
そんなリハビリを心がけています。

※ボバースNDT(神経発達学的治療・Neuro Developmental Treatment:NDT)に準拠したリハビリも行っています。
脳性麻痺などの中枢神経系疾患がある方の治療のための考え方です。
一人ひとりの潜在する能力を評価し、発揮しやすくする手技も合わせて行います。

症例

1

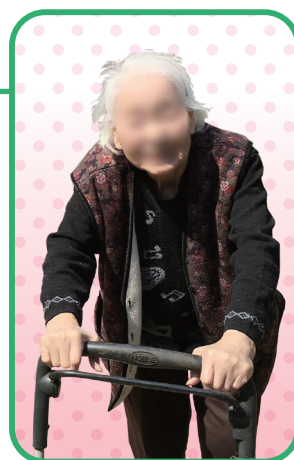
家族も介護がなくなり、感動と驚き!

基本情報 96歳 女性 要介護5
症状・状態 腰痛圧迫骨折 寝たきり状態 踵部に褥瘡あり

目標 屋内歩行は歩行器使用して自立。屋外歩行はシルバーカー使用して自立!

リハビリ内容 訪問リハビリ週1回で、歩行能力獲得と介護量軽減。積極的な気持ちを醸成するために、筋トレによる痛みの軽減を行いました。

結果 腰を痛がり、動きたがらない利用者様。筋トレによるリハビリで痛みを軽減させ「動きたい」という気持ちの醸成を行いました。立位が取れるようになると、ベッドから離れる時間も長くなり、前向きな気持ちも大きく前進。玄関周囲に手すりを設置すると、毎日、屋外へ出かけるまでに回復されました。



症例

2

失語のため、話せない。言葉が理解できない。
それでも一人暮らしを続けたい! 電話、電化製品の操作が出来るように!
次ぎは、自宅のお風呂に入るぞ!

基本情報 72歳 男性 要介護5
症状・状態 脳出血 右片麻痺 失語症(全失語)

目標 バスに乗ってのお出かけ。自宅のお風呂に入る!

リハビリ内容 回復リハビリテーション病院退院直後で独居生活。移動は4点杖+装具と車椅子併用。電化製品や電話の操作は不慣れな状態でした。安全に生活出来ることがご本人様からのご要望でしたが、安全を優先しすぎて生きがいをなくしてしまわないように、通常のリハビリの他、訪問リハビリ週2回のハンドリング(療法士の手によって神経伝達を再生すること)を実施。

結果 「あきらめないで行きましょう!」という言葉がけとリハビリの効果で、装具+T字杖で自宅内の移動が出来るまで自立しました。現在もリハビリ中で、意欲満々の利用者様の次の目標は、バスに乗ることとお話しされ、頑張っていってまいります。



当事業所では、リハビリの研修もしっかりと行っています。

